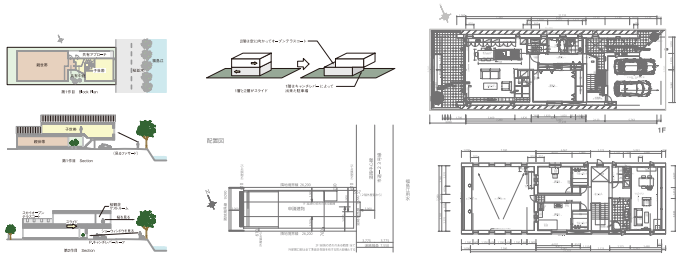


Flying House 桜観荘



Flying House 桜観荘

桜観荘は、M様からの2回目の住みづくりの依頼であった。
 建築地のローケーションは、桜並木の名所徳島江追いである。
 第一作目は、蔵屋デザインをモチーフにし「室外から観て桜に見えるファサード」であった。対する第二作目は、R.C打ち出しキャンチレバー工法を採用し「室内から桜を観る極限の間は、前面ビュチャードファサード」である。
 桜は開花期間も短くとも華麗な花を咲かせる。
 対する建築には、長期対応能力と堅固であり重厚感「高」打ち出しコンクリート」をデザインすることで、自然と建築の対比美を追求したのは、第一作も第二作も同じである。フォルムは、シンプルに1Fと2Fをスライドさせることで生じるキャンチレバー空間と2階には空に向かって伸びる大コートテラスが作り出された。
 尚、R.Cの品質確保「ひび割れないコンクリート」を作るために密着なコンクリートを作ることへの挑戦も受けて立つことになった。

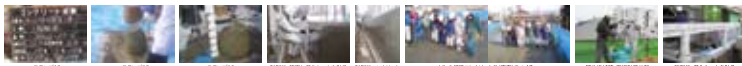


M様邸の経緯

平成18年3月11日、突然の大地震で一瞬のうちにも全壊と化したM様邸(平成元年12月竣工)しかし、津波火傷のため外観は火災の痕を見せなかった。消防活動の際中も隣家ではT.Vを見ていたお母さんまで亡くもなされた。
 ようやく立て、一部壊れたままの築25年建て替えの話しが出る。
 以前のファサードは、職工江崎の似合有見地蔵をモチーフにした。
 この家は火災対策として、R.C 打ち出し構造が希望され高岡江追の和の雰囲気が共通のテーマであった。R.Cの特性を活かして大きくキャンチレバーを演出することでインパクトのあるファサードが演出される。
 ストラクチャーデザインが演出する極上のコラが、内外空間にも共通している。



ひび割れの無い 密着な コンクリートをつくる



品名	数量	単価(円)	小計
コンクリート	1000	1000	1000000
鉄筋	500	2000	1000000
セメント	100	10000	1000000
砂	1000	1000	1000000
砕石	1000	1000	1000000
その他	100	10000	1000000
合計			6000000